
福島県文化センターならびに宮城県立高等学校の復旧に向けて
それぞれ1億円の寄付を実施
～文化施設および学校からのまちづくり支援に向けて～

東日本大震災により被災された皆さまに、心からお見舞い申し上げます。

昭和30年11月に第一生命保険相互会社（現第一生命保険株式会社）からの拠出金をもとに設立された一般財団法人 都市のしくみとくらし研究所（理事長：玉浦雅明）では、この度の東日本大震災発生以降、被災地復興に役立てていただくための財団資産の活用を検討してきました。

昨年12月に行いました岩手県立高田高等学校の再建事業への寄付に引き続き、今回は、東日本大震災により施設が甚大な損害を被り、復旧を急いでいる福島県文化センター災害復旧事業と宮城県石巻市にある県立高等学校3校（石巻好文館高等学校・水産高等学校・石巻工業高等学校）の復旧事業に対して、寄付を実施することを決定しました。

福島県文化センターならびに宮城県立高等学校3校の復旧工事の一助として、新たなまちづくりにご活用いただけることを祈念しています。

贈呈式の予定は以下のとおりです。

記

1. 福島県への支援

- (1) 寄付金額 1億円
(2) 寄付先 福島県
(3) 寄付日 平成24年3月26日（月）

同日14時 目録贈呈式（福島県庁）

贈呈式には松本副知事にもご出席いただく予定です。

2. 宮城県への支援

- (1) 寄付金額 1億円
- (2) 寄付先 宮城県
- (3) 寄付日 平成24年3月28日(水)

同日11時 目録贈呈式(宮城県庁)

贈呈式には三浦副知事にもご出席いただく予定です。

以上

お問い合わせ先

一般財団法人 都市のしくみとくらし研究所

担当 石津 電話：03-3239-2312

【ご参考】

■当財団について

当財団は、財団法人の公益理念にもとづき第二次大戦後の住宅困窮者のため低廉良質な住宅を供給し、併せて住宅事情に関する調査研究を行うことを目的として設立された財団法人です。

平成23年4月に一般財団法人へ移行するとともに、名称も「財団法人 第一住宅建設協会」から新たに「一般財団法人 都市のしくみとくらし研究所」に変更しました。

住宅および宅地の供給は昭和63年に停止し、現在は、都市におけるいろいろな仕組みの思想・役割や、日常のくらし、住生活の改善向上をはかるための必要な調査・研究および啓発を主な目的とし、住宅、都市などに関する研究への助成、機関誌「CITY&LIFE」の発行などを行っています。

■東日本大震災の被災地への支援について

当財団は、その設立趣旨から、第二次大戦後に住宅供給を通じた戦後復興を支援してきましたが、一般財団法人移行後においてもその理念を引き継ぎ、この度の震災等の災害復興に貢献することを目的として、関係諸機関との調整を図り、平成23年5月開催の理事会・評議員会において、いち早く東日本大震災の被災地（特に被害の大きかった岩手・宮城・福島の三県）に対して復旧・復興事業の財源として3億円を上限とする寄付を行うことを決定しました。

昨年12月に行いました岩手県への寄付に引き続き、今回、福島県の復興計画に明示された県文化センター災害復旧事業や宮城県震災復興計画において緊急重点事項とされている学校施設復旧事業（石巻市にある県立高等学校3校）への寄付を決定しました。